

軍事要塞化される九州・沖縄の島々

北熊本駐屯地 第8師団司令部

南西配備の中核、 有事の際の機動師団

- ◇^{とうしょ}島嶼防衛体制を担う西部方面隊の中核。機動力や警戒監視能力を備える即応機動部隊からなる「機動師団」化された。
- ◇2021年3月陸上自衛隊の「電子戦」専門部隊が発足。



佐賀空港

オスプレイ配備予定

- ◇V-22オスプレイ17機と目達原駐屯地のヘリコプター約50機の合計約70機、隊員700人から800人配置予定。
- ◇2018年佐賀県知事、2023年佐賀市長配備容認。5月1日、駐屯地建設予定地の地権者売却同意。**6月12日には工事着工。**



あいのうら

相浦駐屯地

水陸機動団（日本版海兵隊）

2018年3月発足。2400人規模で配置2023年度末に^{たけまつ}竹松駐屯地（大村市）に発足させ3000人規模に。島嶼防衛において統島嶼奪回能力を保持し水陸両用作戦任務に対応「奪回」の任務を担う。



ついき

築城基地（空白）

有事展開 拠点基地

滑走路の延長や米軍用宿舎の建設で、緊急時に米軍機の受け入れ整備を進める。

ついき

築城基地（空白）

米軍の無人偵察機部隊の配備

2022.7米空軍無人偵察機MQ-9の一時展開に提供すると閣議決定。11月から8機体制で中国艦船の監視を目的に運用を開始。

にゅうたはる

新田原基地（空白）

F35ステルス戦闘機配備